

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.1

【令和3年3月31日時点】

| | | | | | | | | | |
|---|-------------|---|----|-----------------|-------------------|--|------------------|----------------|---|
| 団体名 | | 公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団 | | | | 所管部室(課)名 | | 健康医療部 健康まちづくり室 | |
| 所在地 | | 〒564-0072 | | 吹田市出口町19番2号 | | | | | |
| 設立年月日 | | 平成3年3月31日 | | | 代表者職・氏名 | | 理事長 三谷 一裕 | | |
| 基本財産 | | 217,000,000円 | | ①本市出資金(本市の出資割合) | | 円(%) | | | |
| | | | | ②本市出捐金(本市の出捐割合) | | 200,000,000円(92.1%) | | | |
| 設立目的 | | 「健康づくり都市」を宣言する吹田市との連携のもとに、市民の自主的な健康づくりの実践活動を促進し、支援することにより市民の健康増進に寄与することを目的とする。 | | | | | | | |
| 事業内容 | | (1) 運動、栄養、休養の均衡のとれた生活習慣の形成を目的とした安全で科学的根拠に基づく健康づくりの実践指導 (2) 健康づくり指導者の育成及び健康づくりの地域推進組織の育成、支援 (3) 市民向け健康情報紙の発行、各種パンフレットの発行、配布などによる健康づくりの啓発、普及 (4) 市民参加による健康づくりイベントの開催 (5) その他事業団の目的を達成するために必要な事業 | | | | (具体的な事業内容) 1 みんなの健康展の開催 2 吹田市民健康づくりフェスティバルの実施 (1) てくてくウォーク&ノルディック講習会 (2) スポーツフェスティバル (3) 2020チャレンジDAY 3 循環器病予防市民のつどい 4 各種教室、講演会等の開催 5 健康情報紙「健康すいた」の発行 など | | | |
| | | 合計(市職員及び元市職員以外も含む。) | | | | 合計(元市職員以外も含む。) | | | |
| | | | | うち市職員 | うち元市職員 | | | うち元市職員 | |
| 役員数(人) | 理事 (取締役) | 常勤 | 0 | 0 | 0 | 職員数(人) | 常勤 | 0 | 0 |
| | | 非常勤 | 15 | 3 | 0 | | 再任用(※1) 常時勤務 | 3 (※3) | 0 |
| | 監事 (監査役) | 常勤 | 0 | 0 | 0 | | 再任用(※1) 短時間勤務 | 0 | 0 |
| | | 非常勤 | 2 | 1 | 0 | | 非常勤 | 4 | 0 |
| 65歳以上の役員数(※2) (人) | | 5 | | | 0 | 臨時 雇用員 | 1 | | |
| 評議員 (人) | | 15 | 1 | 3 | 65歳以上の職員数 (※2) | 0 | 0 | | |
| 元市職員に対する報酬や給与水準が、市再任用職員の水準を上回る。(いずれかに○) | | | | | | 該当 ・ <input checked="" type="radio"/> 非該当 | | | |
| 【該当する場合のみ記載】内容 | | | | | | | | | |
| 元市職員に対して退職金を支給している。(いずれかに○) | | | | | | <input checked="" type="radio"/> 該当 ・ 非該当 | | | |
| 【該当する場合のみ記載】内容 | | | | | | 特定退職金共済制度(掛金3,000円/月) | | | |

※1 再任用職員とは、60歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている職員をいう。

※2 65歳に達した日以降における最初の3月31日を超えて雇用されている役員数又は職員数。

※3 本市から派遣されている職員の人数を含む。

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.2

【令和2年度決算】

| 団体名 | | 公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団 | | 所管部室(課)名 | | |
|--------------|------------|---------------------|-------------|----------------|------------|-------------|
| | | | | 健康医療部 健康まちづくり室 | | |
| 財務状況(円) | 損益計算書 | 総収入 | 30,865,931 | 貸借対照表 | 資産の部合計 | 244,632,941 |
| | | (うち市受入金) | 28,444,758 | | 負債の部合計 | 13,081,248 |
| | | (その他) | 2,421,173 | | (うち有利子負債) | 0 |
| | | 総費用 | 35,093,347 | | 正味財産合計 | 231,551,693 |
| | | 経常損益 | △ 4,227,416 | | (うち一般正味財産) | 31,551,693 |
| | | 当期損益 | △ 4,227,416 | | | |
| 市から団体への支出(円) | 主な内容、算出根拠等 | | | | | |
| | フロー | 補助金 | 28,444,758 | 吹田市補助金収入 | | |
| | | 委託料 | 0 | | | |
| | | 指定管理料 | 0 | | | |
| | | その他 | 0 | | | |
| | | 計 | 28,444,758 | | | |
| | ストック | 貸付金残高 | 0 | | | |
| | | 債務保証残高 | 0 | | | |
| | | 損失補償残高 | 0 | | | |
| | | 出資金(出損金) | 200,000,000 | 平成3年設立時出損 | | |
| | | その他 | 0 | | | |
| 計 | | 200,000,000 | | | | |

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.3

【評価対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

| | | |
|-----|---------------------|----------------|
| 団体名 | 公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団 | 所管部室(課)名 |
| | | 健康医療部 健康まちづくり室 |

1 団体による評価

◎→できている ○→概ねできている △→一部できている ×→できていない

(1) 運営に関する評価

| 指針の項目 | 評価項目 | 評価 | 評価の理由 |
|----------|-------------------------------------|----|--|
| 組織及び人事管理 | 規程等を適切に整備している。 | ◎ | 組織及び人事管理については、効率的な執行体制の下、規程整備や人事管理等を適切に行っているが、役員数については今後検討していく必要がある。職員の研修に関しては、Web公益法人協会定例会へ参加するとともに、来年度以降の事業実施に向け、本市及び他市で開催される健康づくり事業に参加した。 |
| | 団体の事業規模に応じた簡素で効率的な執行体制としている。 | ◎ | |
| | 団体の事業規模や経営状況に応じた役員数及び職員数としている。 | ◎ | |
| | 採用における公正性・透明性を確保している。 | ◎ | |
| | 団体の経営状況に応じた役員報酬や職員給与としている。 | ◎ | |
| | 職員研修の充実に努めている。 | ◎ | |
| 事業運営 | 事業の必要性や意義を見直しつつ、効果的、効率的な事業運営を行っている。 | ◎ | イベントについては、実行委員会形式で実施しており、効果的かつ効率的な運営ができている。令和2年度は、コロナ禍の中、新しい日常で自ら健康づくりに取り組んでもらえる内容に変更し、感染対策を行った上で実施した。 |
| | 事業を継続的に点検し、市民ニーズに沿ったものとしている。 | ◎ | |
| 財務管理 | 中・長期的な経営計画を策定している。 | ○ | 適切な財務管理ができおり、収支も健全である。自主財源の確保については、自主事業の有料化や賛助会員確保の働きかけを行ったが、その他の方策についても検討していく必要がある。 |
| | 自主財源の確保に努めている。 | ○ | |
| | 各種経費を可能な限り抑制している。 | ◎ | |
| | 最も確実かつ有利な方法で財産の管理運用を行っている。 | ◎ | |
| | 外部の専門家による監査を活用するなど監査体制の強化に努めている。 | ◎ | |
| 情報公開 | 団体の経営状況、事業計画を公開している。 | ◎ | 経営状況、事業計画、役員名簿、議事録をホームページ上で公開し、いつでもだれでも見られるようにしている。事業の案内については、ホームページ、ポスター、チラシ等で随時情報を発信している。 |
| | 団体の役員名簿、会議録等を公開している。 | ◎ | |
| | ホームページをはじめとする多様な手段で情報提供を行っている。 | ◎ | |
| | 個人情報保護に関する措置を適正に講じている。 | ◎ | |

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.4

【評価対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

| | | |
|-----|---------------------|----------------|
| 団体名 | 公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団 | 所管部室(課)名 |
| | | 健康医療部 健康まちづくり室 |

(2) 事業に関する評価

ア 指標による評価

| 事業名 | 活動指標 | 令和2年度目標 | 令和2年度実績 | (参考) 令和元年度実績 |
|--------------|------------|----------------|----------------|-----------------|
| | 成果指標 | | | |
| スポーツフェスティバル | 参画団体数 | 4団体 | 4団体 | 5団体 |
| | イベントへの参加者数 | 77人(規模を縮小して実施) | 94人(規模を縮小して実施) | 954人 |
| 2020チャレンジDAY | 参画団体数 | 6団体 | 6団体 | 9団体 |
| | イベントへの参加者数 | 75人(規模を縮小して実施) | 86人(規模を縮小して実施) | 2,708人 |

イ 指標で示すのが困難な場合

| 事業名 | 活動内容 | 成果内容 |
|---------|--|--|
| みんなの健康展 | 従来の対面型の健康展は出来なかったが、初めての試みである「Webみんなの健康展」について実行委員会で賛同をいただき開催することができた。実行委員会22団体の中で、19団体がホームページ上での動画配信又は健康すいたの紙面での情報発信に参加し、講演会についても、医師会から推薦を受けた2名の講師の講演をホームページ上で配信した。 | コロナ禍の中、新しい取り組みとして「Webみんなの健康展」としてホームページ上で情報発信することができた。講演会もタイムリーなテーマで市民の関心の高い内容であった。吹田市のホームページからもリンクを貼っていただきより多くの人に見ていただけるようにできた。インターネット環境のない市民のため、全戸に配布している健康すいたに健康展の特集を掲載することができた。 |
| 健康すいた | 健康に関する情報を全戸へ提供することで、市民の健康づくりへの動機付けや意識啓発を促すため発行している。内容については、個人に適した健康づくりの適切な方法を提供するため、専門的な知識を有する関係団体の協力を得ている。また、みんなの健康展がWeb上での開催となったため、インターネットの環境がない方にも情報発信するため4ページの特集ページを組み入れた。 | 「市報すいた」と一緒に全世帯に配布している。紙面には、クロスワードパズルが掲載されており、その回答と合わせて様々な市民の声が届けられている。年1回の発行だったが、新型コロナウイルス感染予防に関係した記事を多く掲載した。 |

(3) 今後の取組方針

※(1)において◎以外とした事項、課題となっている事項について重点的に記載

事業団では、令和元年度に運動・栄養・休養を柱とした事業方針を作成し、事業の見直しを行ってきた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ホームページを活用したWeb上での開催となった事業が多かったが、事業方針に沿って、市民の健康づくりを支援する取り組みが出来たと考えている。今後は、事業団が主体となって実施する事業に加えて、民間企業や地域事業者、また大学等と連携して、地域住民の健康づくりや健康を意識したまちづくりに取り組んでいく必要があると考えており、現在、できる範囲ではあるが、健康づくりやまちづくりに取り組む民間企業にアプローチをかけるとともに、地域事業者や大学、高校と協議を行っているところである。

また、吹田市から示された「今後の健康づくり推進事業団がめざすべき将来像」に向けて取り組んでいくためには、市の健康づくり施策の中での事業団の役割と、その役割を主体的に企画できる体制の整備について検討していく必要がある。なお、自主財源の確保については、無料で行っていた自主事業の有料化や、賛助会員加入に向けて、さらなる働きかけを計画しているが、中・長期的な経営計画や安定した自主財源の確保については、今後の役割と体制の整備に合わせて根本的に取り組んでいく必要があると考えている。

令和3年度外郭団体活動状況評価シート No.5

【評価対象期間: 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで】

| | | |
|-----|---------------------|----------------|
| 団体名 | 公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団 | 所管部室(課)名 |
| | | 健康医療部 健康まちづくり室 |

2 市による評価

◎→できている ○→概ねできている △→一部できている ×→できていない

(1) 団体の運営に関する評価

| 事項 | 評価項目 | 評価 | 評価の理由 |
|---------------|---------------------------------|----|---|
| 団体の存在意義 | 市民福祉の向上に資する事業を行っている。 | ◎ | 当該団体は、設立趣旨として「健康づくり都市宣言」を踏まえた市民の健康づくりの振興を掲げており、本市が推進する「一人ひとりの主体的な健康づくり」に貢献しているため。 |
| | 事業の成果が市の施策の推進に貢献している。 | ○ | |
| 事業実施主体としての妥当性 | 市が直営で行うよりも効果的かつ効率的にサービスを提供している。 | ○ | 効果的かつ効率的な事業運営に向けて、民間企業との連携や新規事業の実施に向けて、検討を行っているため。 |
| | 多くの市民の理解が得られる活動を行っている。 | ○ | |

(2) 団体の自己評価に対する市の見解

組織については、団体の事業運営に際して必要最小限の人員となっており、職員の退職に伴い令和2年度新規採用職員の募集を公募により行う等、人事管理は適切に行われている。しかし、給与等に関して、60歳以上で採用された職員について、月例の給与等は本市の再任用職員等と比べて高くはないが、外郭団体のあり方に関する指針において「退職手当不支給とすること」とされているにも関わらず、退職金に相当する制度があることから、当該指針を踏まえて是正していく必要がある。

事業運営については、団体の設立以降、市民に長らく親しまれる健康づくりの啓発イベントを実施しているが、既存事業の課題を整理したうえで、評価・検証を行い、さらに企業との連携に努めつつ、再構築を行うなど適切に運営がなされている。特に、令和2年度においては、Webを活用し健康情報の発信を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、市民の健康の保持・増進に向けた事業について、最大限努力したものと考えている。

今後はより効果的かつ効率的な事業実施に向けて、引き続き検討を進めるとともに、実施する事業の多くが市の補助金を財源としていることを鑑み、補助金を財源としない自主的な事業についても積極的に実施できるよう取組を進めていく必要がある。

その他、財務状況は健全であり、情報公開についても適切に行われている。

(3) 市の関与に関する今後の方向性

当該団体は、本市の出捐金を基に設立され、本市から補助金の交付を受けつつ、市民の健康づくりを推進するための事業を実施する団体であることから、特に補助金を活用して実施する事業については、市の健康づくり施策に関する方向性について、十分理解をした上で、公益的な事業を展開していく必要がある。

今後は、当該団体が、国・府・市の健康づくりの動向について引き続き十分把握するとともに、地域住民が主体となり、民間企業や関係機関と連携のもと、健康づくりの取組に実践できるよう、協議を行う。